

# 在宅診療で活躍する特定行為修了者の 実際と課題

ゆみのハートクリニック  
特定行為研修修了者  
看護部課長  
小林 由佳

# 自己紹介

- 2002～2018年 札幌市内の循環器病院等で勤務
- 2014年 臨床心臓病学教育研究会/循環器専門ナース習得
- 2015年 糖尿病療養指導士資格習得
- 2018年 ゆみのハートクリニックに就職
- 2021年 心不全療養士指導士資格習得
- 2021年 日本看護協会特定行為研修  
在宅パッケージを修了



## 本日の内容

- ✓大規模な在宅クリニックにおける特定行為研修  
修了後の看護実践～テレナーシングへの活用～
- ✓特定行為実践の実際
- ✓特定行為研修了者が看護管理者として大切にしている視点

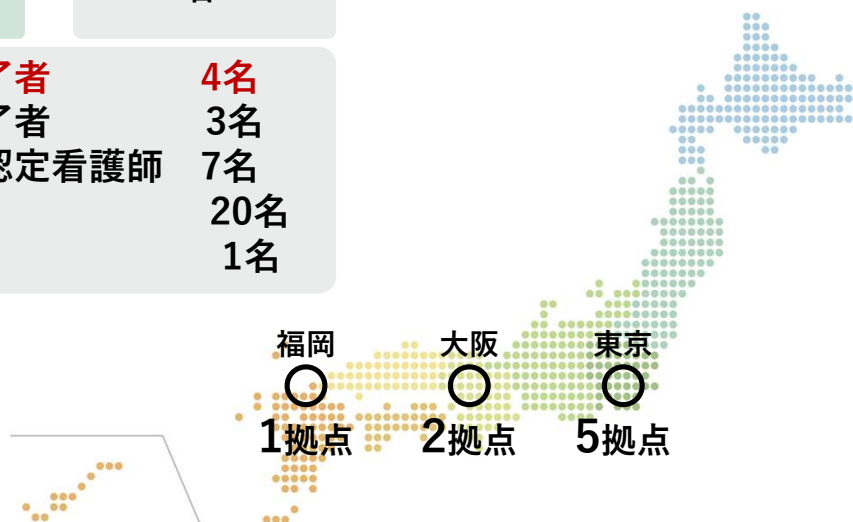
# YUMINO medical since 2012

総スタッフ数  
418名

看護師  
71名

特定行為研修修了者 4名  
NP教育課程修了者 3名  
慢性心不全看護認定看護師 7名  
心不全療養士 20名  
デバイスナース 1名

2023年10月現在



## 東京

- ゆみのハートクリニック
- ゆみのハートクリニック渋谷
- ゆみのクリニック渋谷桜丘NEW
- ゆみのハートクリニック三鷹
- ゆみの在宅医療・管制塔センター

## 大阪

- のぞみハートクリニック
- のぞみハートクリニック天王寺NEW

## 福岡

- わかばハートクリニック



外来診療



訪問診療



訪問看護



テレナーシング



在宅療養支援室

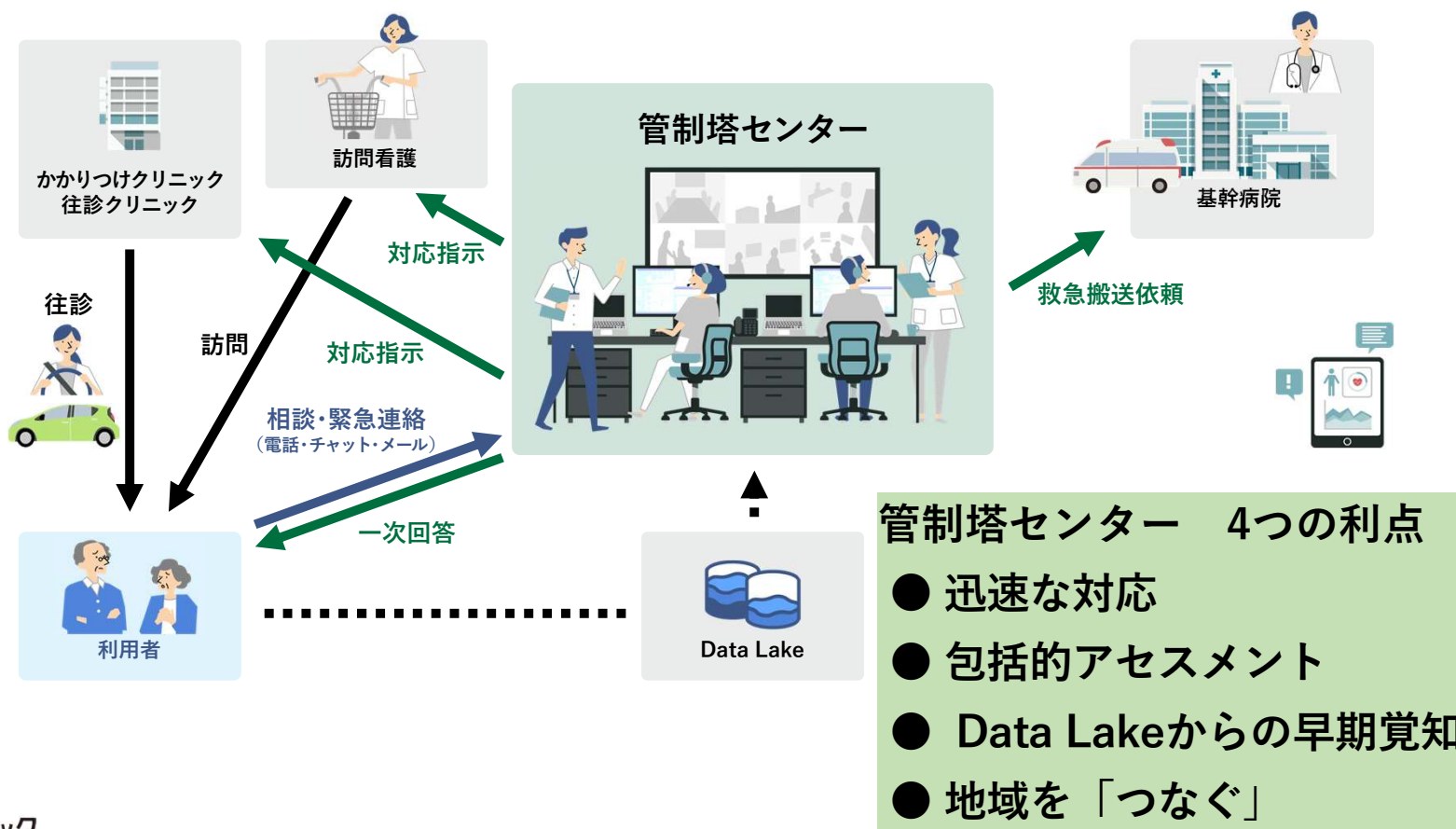


睡眠時無呼吸症



訪問リハビリテーション

# 管制塔センターの役割



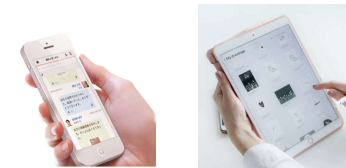
# 情報共有：ICT（医療用SNS）を活用



## MedicalCare STATION



- ✓ 操作が簡単
- ✓ 全国14万人以上が利用
- ✓ 多くの医師会、行政で利用
- ✓ 厚生労働省のガイドラインに準拠
- ✓ セキュリティーが高い
- ✓ 様々な端末で利用可能



# 症例報告

**症例** 70代 男性

**既往歴** 脳梗塞 左片麻痺（左下肢は装具装着）

**現病歴** 管制塔センターに、妻より緊急電話があり、  
「左足の踵が赤く打撲したようになっている」  
立ちがってトイレに行けるが、踵が痛いと訴えている。  
麻痺側の患肢のため疼痛の評価が、判断できない状況であった。主治医  
と訪問看護師により、経過観察していた。



＜特定行為研修修了者への医師からの依頼＞

1か月後の訪問診療時、医師から創部が悪化していると  
連絡があり、訪問を開始した

# 介入経過記録

介入初回



1ヵ月後



2ヵ月後



3ヵ月後



再発リスク評価訪問



装具の確認



# 特定行為研修修了者としての介入

- ◆ 訪問して創部の状態の評価、創傷がなぜ起きたのか？  
という事を生活環境の中から推察する
- ◆ MCSで創傷の写真を情報共有し、訪問看護師と密に連携  
創部の変化をとらえたら軟膏変更について医師と連携をはかる
- ◆ 訪問看護・デイサービス時の処置について相談し、創傷処置が途絶  
える日がないようサービス調整
  - ・ 訪問看護師へ特別訪問看護指示書での介入が可能か相談
  - ・ デイサービスでも創部の洗浄＋軟膏処置が可能か確認
- ◆ 週1回訪問してデブリードマンを行いに訪問し、創傷治癒を促進

## 医師不在の中で、特定行為を行う場合のリスク管理

### DtoPwithN

Doctor(医師)、Patient(患者)、Nurse(看護師)

特定行為を実施する直前の創部状態を確認し、  
判断に迷った時にはオンラインで医師にタイムリーな相談可能

## 課題

- ◆在宅では医師が5分・10分で往診はできない  
特定行為をする際のトラブルシューティングについて  
一層検討を重ね続けることが必要
- ◆症状増悪時の対応  
他事業所の訪問看護師へも創傷観察スキルが向上する  
ような学び合いが必要

# 看護管理者として視点

- ◆ 特定行為研修修了者が看護管理者である  
テレナーシングの中から特定行為研修修了者の介入が必要な患者の抽出を積極的に行う
- ◆ 特定行為研修修了者が活動しやすいようにシフト調整  
活動の機会を広げられるようにサポートできる
- ◆ リスクマネジメントを行う上で手順書に記載している病状の範囲内であるかどうかについて共通理解ができる
- ◆ 特定行為研修修了者の心理的安全性を保てるように支援  
活動拡大へつなげる

## まとめ

- ✓ 特定行為研修を受講すると包括的アセスメント能力が向上し患者へ還元することができる
- ✓ テレナーシングの中からも、特定行為実践が必要な患者を自ら抽出することができる、必要なサービス調整も検討できる
- ✓ 特定行為研修修了者が管理者であると、手順書の内容を共通理解でき、リスクマネジメントのポイントも抑えながら特定行為実践者の活動をサポートできる

## その人らしい人生を チームとともに 未来にむかって

